

1. 件名：日本原燃(株)再処理施設及び MOX 施設に係る設計及び工事計画の変更の認可申請に関する面談

2. 日時：令和3年7月9日(金) 10時00分～10時25分

3. 場所：原子力規制庁 原子力規制部長室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 市村原子力規制部長

審査G核燃料施設審査部門 長谷川安全規制管理官、森野安全審査専門職

検査G専門検査部門 杉本安全規制管理官

日本原燃(株) 宮越常務執行役員(再処理事業部長)

横村専務執行役員(燃料製造事業部長)

5. 要旨

○日本原燃(株)から、同社の再処理施設及び MOX 施設に係る設計及び工事の計画の変更の認可申請に係る審査対応状況について、概ね以下の説明があった。

- ・論点となっている地盤モデルの考え方に関しては、現在、鋭意検討しているところ。MOX 燃料加工建屋については、再処理施設とは表層地盤の構造が異なっていることなどが分かってきており、こうしたことを踏まえて検討を進めている。
- ・当該論点は、今後申請予定の再処理施設等における地盤モデルにも関係するものと考えているが、再処理施設全体については、現時点で直下地盤の構造と設計用地盤モデルとの関係を把握しきれていないので、その点も含めて必要な説明ができるよう検討を行う。

○原子力規制庁から、日本原燃(株)に対して以下の点を伝えた。

- ・地盤モデルの妥当性については、申請時における検討が十分ではなかった点があると考えている。日本原燃(株)が所持しているデータをよく検討し、客観性のある論理構築が必要である。この際、様々な角度から柔軟に検討を進めることも必要と考える。
- ・また、原子力規制庁側の指摘や質問の趣旨を正しく理解してもらうことが重要であり、コミュニケーションの仕方にも工夫の余地があると思っている。

6. 提出資料：なし

以上